

日本糖尿病学会年次学術集会 in パシフィコ横浜

わかば会報 6月号

平成 24 年 5 月 17・18・19 日の 3 日間、横浜にある『パシフィコ横浜』にて

日本糖尿病学会年次学術集会に参加・発表してきました

とても大きな会場なのですが、日本全国から集まる学会というだけあって、展示ブース・発表ブースなどに分かれており、パシフィコ横浜の会場全てを使っただけの学会でした。

日程

5月17日(木)	ポスター	名城 真弓さん
5月18日(金)	ポスター	種田 嘉信先生
5月19日(土)	口演	種田 嘉信先生

ポスターという発表形式は、決められた展示ブースに、自分たちで発表の資料・データ・写真などを貼り、来場者の質問に答えたり、発表するものです。

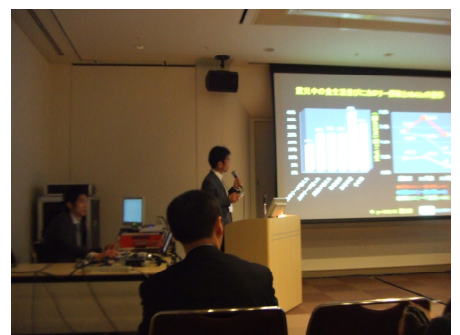
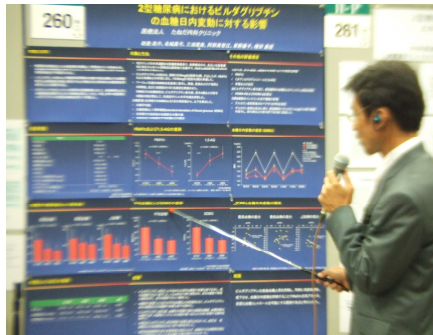
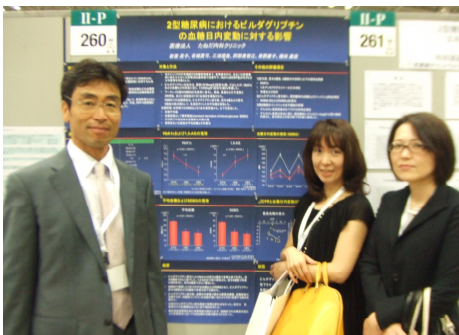
発表内容

種田 嘉信先生 東日本大震災が糖尿病患者に与えた影響

～ 原発事故により多くの方が自主避難した福島県浜通り地方から～

名城 真弓さん 東日本大震災を経験して ～ 避難所診療からの考察～

会場での様子



東日本震災のこと...鮮明に思い出します。何も無い・何も出来ない絶望の状況の中で、先生・ナースチームが避難所を回診していました。『こんな時だからこそ...』の気持ちで一杯だったと思います。次に震災があったときのために、今回の現場での状況を伝える義務がある、そう院長が言っていたのを思い出します。それが、今回の発表につながっているのだと思います。

もう震災が無いことを祈りながら...

事務 山本